

## 領主の夢枕に立った守護神

弘田川の流れて沿って北へ進むと、高速道路の南側に雲気神社があります。

延喜式内社で讃岐24社に数えられる由緒ある神社で、全讃史には「ほころ祠は昼なお暗く、よく雲気を生じ雨降る、故に雲気の神という」とあります。天正(1573~1592)年間に長宗我部元親の讃岐侵攻による兵火で全焼しましたが、宝暦4(1754)年には丸亀藩主京極高矩が再興し、自筆の額、鳥居、神図を寄進しました。この再興にまつわる次のような伝説があります。

京極高矩が將軍の前で騎射(馬上から弓を射ること)の腕を披露することになりました。心配しつつ眠りについたところ、夢枕に白ヒゲの老人が現れて「明日の騎射は重藤の弓に白羽の矢を用いよ」「わしの言うとおりにやれば必ず成功するぞ、わしはお前の領地の守護神・雲気の神じゃ」と言いました。翌日の騎射は大成功し、調べてみると、雲気の古い祠跡が弘田村にあったということです。



田園地帯の中にある神社です。



■弘田町1105

●吉原小学校から徒歩約10分。  
高速道路南側の田園地帯。